

## 富士フィルム和光バイオソリューションズ 創薬支援業務や検査業務の受託サービスを開始

2019年3月28日

富士フィルム和光バイオソリューションズ株式会社

富士フィルム和光バイオソリューションズ株式会社(社長:藤原 淑記、以下 富士フィルム和光バイオ)は、創薬支援業務や検査業務を受託するサービスを、本年4月1日より順次開始します。

富士フィルム和光バイオは、本年2月に富士フィルム和光純薬が設立した、創薬支援業務や検査業務の受託サービス会社です。これまで富士フィルム和光純薬が提供してきた、がんなどさまざまな疾患に関与することが知られているエクソソーム<sup>※1</sup>の単離サービスなどの創薬支援業務や、医療機器や飲料・食品などに含まれるエンドトキシン<sup>※2</sup>の有無を確認する毒素検査業務を受託します。さらに、公立大学法人 福島県立医科大学の「医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター(以下、TRC)<sup>※3</sup>」が開発した抗がん剤評価サービスを提供するとともに、TRCとの技術連携を強化することで、受託ビジネスを拡大していきます。尚、受託サービスの営業活動については、富士フィルム和光純薬が担います。

富士フィルム和光バイオは、アカデミアや産業界からのニーズに応えるサービスを迅速に開発・提供することで、創薬支援業務や検査業務の受託拡大を図るとともに、医療分野をはじめとした学術研究や産業の発展に貢献していきます。

※1 エクソソームは、すべての細胞から放出される、50~150 ナノメートルほどの微粒子で、核酸やタンパク質などを内包している。  
※2 エンドトキシンは、環境中のどこにでも存在する代表的な発熱性物質で、生体内に混入すると極めて微量でも発熱を引き起こす。  
※3 福島の震災復興プロジェクトの一つである「福島医薬品関連産業支援拠点化事業」を推進するために、2012年に設立されたセンター。

### <富士フィルム和光バイオソリューションズが提供する受託サービスの内容>

#### (1)創薬支援業務

##### ・抗がん剤評価サービス

抗がん剤の原薬の薬効を評価するサービスです。従来試験管評価で使用されてきたがん細胞は、不死化<sup>※4</sup>などの処理を施しているため、がん細胞の性質が変化しますが、本サービスで使用するがん細胞は、元のがん細胞の性質を保持できる特殊培養を用いているため、ヒト臨床評価と相関性の高いデータを獲得することが可能です。

開始時期:2019年4月1日

##### ・エクソソーム単離サービス

磁力を使って高純度にエクソソームを単離する富士フィルム和光純薬の独自技術を用いたサービスです。高純度に単離することで、エクソソームの内包物をより詳細に分析することができるため、新たな治療法や診断法の開発に繋がると期待されています。

開始時期:2019年6月

##### ・タンパク質作製サービス

昆虫細胞を用いて遺伝子組み換えタンパク質を作製するサービスです。少量から大量ニーズまで、製薬会社やアカデミアからの幅広い要望に対応できます。

開始時期:2019年6月

#### (2)検査業務

##### ・エンドトキシン測定サービス

カプトガニの血清成分を使ってエンドトキシンを測定する富士フィルム和光純薬の独自技術を用いたサービスです。医療機器や飲料・食品などに含まれるエンドトキシンを高感度に検出することが可能です。

開始時期:2019年6月

※4 細胞増殖を抑制するメカニズムに関与しているタンパク質の働きを抑えること。

【参考】富士フィルム和光バイオソリューションズ概要

会社名	富士フィルム和光バイオソリューションズ株式会社
本社所在地	福島県福島市光が丘1番地(公立大学法人 福島県立医科大学内)
設立日	2019年2月18日
代表者	藤原 淑記
資本金	50百万円
株主構成	富士フィルム和光純薬株式会社(100%)
主な事業内容	創薬支援業務や検査業務の受託サービス

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係 富士フィルム和光純薬株式会社 経営企画部 TEL 06-6203-1590

その他 富士フィルム和光純薬株式会社 バイオ受託ソリューション推進室 TEL 06-6203-3515